

令和3年12月10日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院生命科学研究部長  
山縣 和也 (公印省略)

熊本大学大学院生命科学研究部 先端基礎医学IV講座  
准教授候補者の公募について

このたび、本研究部では准教授の公募をいたしますので、貴機関関係各位に周知方、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

本講座では、熊本大学生命科学系の強みである代謝・循環医学、がん医学、感染・免疫学をはじめとする先端基礎医学領域において、国際共同研究を積極的に展開し、先進的な研究を展開していただける人材を求めます。

本公募では、当該領域における次世代を担う研究者の育成を図ることを目的に、採用後5年間の業績に基づき審査を行い、教授に昇任することが可能です。また、採用後には助教1名を採用することができます。

着任後は、医学部医学科の科目の一部、及び教養科目、また、大学院医学教育部においては専門に応じた関連科目の教育を担当していただきます。

記

1. 募集職名及び人員 准教授1名
2. 所 属 熊本大学大学院生命科学研究部 先端基礎医学IV講座  
(採用後、候補者の専門に応じた部門・分野に配置する)
3. 研究分野 本研究部(医学系)では「代謝・循環医学」「がん医学」「感染・免疫学」を第4期中期目標・中期計画における重点分野としていますが、本公募では基礎医学研究に基盤をおきつつ本研究部の基礎・臨床研究を活性化するような幅広い領域からのご応募を期待しています。
4. 担当業務 ①大学院生命科学研究部における研究業務  
②医学部及び教養教育における教育業務  
③大学院医学教育部における教育業務  
④大学の運営に関わる業務(社会貢献、入試を含む)
5. 応募条件  
(1) 博士の学位を有する者  
(2) 生命科学系に関する卓越した業績を有するとともに先端的な研究を展開できる者  
(3) 大学院医学教育部並びに医学部の兼任准教授として、大学院並びに学部教育において優れた教育能力を有し熱意を持って取り組む者  
(4) 大学院生命科学研究部准教授にふさわしい人格を有する者
6. 公募期限 令和4年3月31日(木) 必着

7. 採用時期 採用決定後、できるだけ早い時期

8. 研究環境等 研究主宰者として、専有の研究スペースが付与され、助教1名を採用することができます。

9. 労働条件等

- 勤務形態 : 専門業務型裁量労働制  
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす
- 任期の定め : なし
- 試用期間 : 6か月
- 勤務場所 : 熊本大学本荘キャンパス
- 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

10. 提出書類

- |  |    |
|--|----|
| (1) 推薦書  | 1部 |
| (2) 履歴書(様式有)   | 1部 |
| ・男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。 |    |
| ・履歴書の項目を満たしていれば、指定様式でなくても構いません。                              |    |
| (3) 業績目録(様式有)  | 1部 |
| (4) 主要研究論文目録(総説を含む)(様式有)                                     | 1部 |
| ・最近5カ年の原著論文を中心に、主要論文10編の別刷各1部を添付のこと(コピーでも可)                  |    |
| (5) 業績の概要(様式有)   | 1部 |
| (6) 研究・教育に対する抱負(様式有)   | 1部 |

併せて、電子媒体でも提出願います。(論文の別刷のコピーは除く)

※(2)～(6)の様式は、本研究部ホームページ(<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp>)の【教員募集のご案内】の『応募様式』を御使用ください。

11. 附記 \*選考に当たって、候補者各位にはセミナー及び面談をお願いすることがありますので、あらかじめ御承知おき願います。
- \*応募書類に記載された個人情報、当該選考のみ使用し、他の目的には一切使用しません。また、応募書類は返却しません。
- \*熊本大学は男女共同参画を推進しています。(詳細はホームページをご覧ください。<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>) また、選考にあたっては、男女共同参画社会基本法の方法の精神に則り、適正に行います。

12. 書類提出先 熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム 総務・人事担当：新富  
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号 TEL 096-373-5659  
e-mail: ski-jinji@jimu.kumamoto-u.ac.jp

# 履 歴 書

年 月 日現在

ふりがな <span style="float: right;">くまもと たろう</span> 氏 名		ここに写真を 貼って下さい
熊 本 太 郎		
年 月 日生 (満 才)	本籍 都道府県	
ふりがな 現住所 〒		電話
		携帯
メールアドレス		

年	月	日	学 歴
2000	3	1	〇〇県立〇〇高等学校卒業
2000	4	1 1	〇〇大学医学部入学
2006	3	2 5	同 卒業
2008	4	1 1	〇〇大学大学院医学研究科入学
2012	3	2 5	同 修了
年	月	日	免 許・資 格
2006	3	1 8	第〇〇回医師国家試験合格
2006	3	2 3	医師免許証交付 (医籍登録第 号)
2012	3	2 5	博士 (医学) の学位を取得 (〇〇大学)

年	月	日	職 歴
2006	4	1	〇〇病院において医学実地研修開始
2008	3	3 1	同 修了
2012	4	1	〇〇大学〇〇研究所〇〇研究員採用 (米国)
2014	3	3 1	同 退職
2014	4	1	〇〇大学〇〇学部〇〇研究員採用
2016	3	3 1	同 退職
2018	4	1	〇〇大学〇〇研究所助教採用
			現在に至る
年	月	日	賞 罰・そ の 他
2015	6	1	〇〇賞受賞
			(学会等) 日本〇〇学会会員

**備考**

1. 学歴は、高等学校から記載すること。
2. 職歴は、職名・所属講座名等を記載すること。
3. 学会及び社会における活動状況を最後に記載すること。(例：〇〇学会評議員等)

# 履 歴 書

年 月 日現在

ふりがな 氏 名		ここに写真を 貼って下さい
昭和 年 月 日生 (満 才)	本籍 都道府県	
ふりがな 現在所 〒		電話
メールアドレス		携帯

年	月	日	学 歴
年	月	日	免許 ・ 資格

年	月	日	職 歴
年	月	日	賞罰 ・ その他

備考

1. 学歴は、高等学校から記載すること。
2. 職歴は、職名・所属講座名等を記載すること。
3. 学会及び社会における活動状況を最後に記載すること。(例：〇〇学会評議員等)

# 業績目録

所属 職名 氏名

注：著者名は全員を記し、応募者にはアンダーライン、論文の corresponding author には\*を付すこと。また投稿中論文は記載しないこと。印刷中の論文については正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って記載が認められる。業績目録作成にあたって以下の業績等の記入例を参考にすること。記載順は、直近の年代の論文から過去に遡って記載すること。英文原著論文・総説・症例報告については掲載誌の最新の impact factor (IF) 及び当該論文の引用回数 (citation; Scopus による最新データ) を記すこと。主要研究論文 10 編には、丸印を付すこと。

## I. 英文原著論文

- Oe Y., Honjo E., Kuhonji T., Kumamoto T., Tsubame S., Mizuo T., Sakura H. Shirakawa K. & Kurokami T.\*  
PKC is activated by the cell-matrix interaction via CD44.  
J. Cell Biol. (in press) [IF, 9.575; citation, 0]
- Honjo J.\* & Kumamoto T.  
Progression of tumor cells by H-Ras oncogenic signaling.  
Proc. Natl. Acad. Sci. USA 108, 9-10 (2019) [IF, 9.432; citation, 10]
- Kumamoto T.,\* Honjo J., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.  
Signal transduction in the cell differentiation.  
Nature 483, 456-789 (2019) [IF, 34.480; citation, 300]

## II. 英文原著論文の数、IF の総和および引用回数のまとめ

注：記入例に従い、総論文数、1st author、2nd author、last author、corresponding author および、それ以外の共著者の論文数を記載すること。印刷中の論文については、I に記載したものに限り記載が認められる。1st author でかつ corresponding author である場合や last author で corresponding author である場合などは、corresponding author として扱い、重複して記載をしてはならない。IF の合計点、\*selected IF の合計点および引用回数についても記載すること。また最近 5 年間の掲載論文についても () 内に記載すること。

\*Selected IF: 申請者が 1st author, 2nd author, last author もしくは corresponding author である論文の IF。

### 記入例

原著論文総数
3(3)

1st author 論文数	2nd author 論文数	Last author 論文数	Corresponding author 論文数	それ以外の 論文数
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)

IF の合計点	Selected IF の 合計点	引用回数の 総合計
53.487 (53.487)	34.480 (34.480)	310

### Ⅲ. 英文総説

1. Honjo J., Kumamoto T.\* & Kurokami T.  
Regulation of cellular proteins via ubiquitin-proteasome system.  
N. Engl. J. Med., 345, 9-10 (2019) [IF, 47.050; citation, 500]
2. Kumamoto T.\*  
Stress response in neuronal cells.  
Nat. Rev. Mol. Cell Biol., 1, 23-45 (2019) [IF, 42.198; citation, 600]

### Ⅳ. 英文総説論文の数、IF の総和および引用回数のまとめ

注：記入例に従い、総論文数、1st author、2nd author、last author、corresponding author の論文数を記載すること。印刷中の論文については、Ⅲに記載したものに限り記載が認められる。1st author かつ corresponding author である場合や last author で corresponding author である場合などは、corresponding author として扱い、重複して記載をしてはならない。申請者が 1st author、2nd author、last author、corresponding author である英文総説の IF の合計点および引用回数についても記載すること。また最近 5 年間の掲載論文についても () 内に記載すること。

#### 記入例

総説論文総数
2 (2)

1st author 論文数	2nd author 論文数	Last author 論文数	Corresponding author 論文数	それ以外の 論文数
0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0(0)

IF の合計点	引用回数の 総合計
89 (59)	1,100

### Ⅴ. 英文症例報告

1. Kumamoto T.\* Honjo J., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.  
A case of type A insulin resistance with insulin receptor gene mutation.  
N. Engl. J. Med., 340, 20-22 (2007) [IF, 47.050; citation, 50]

# 主要研究論文（10編）

所属 職名 氏名

（原則として原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。総説を記載した場合は、明記すること。）

## ○最近5カ年の業績

1. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T., Kumamoto T., Tsubame S., Mizuo T., Sakura H. Shirakawa K. & Kurokami T.\*  
PKC is activated by the cell-matrix interaction via CD44.  
J. Cell Biol. (in press) [IF, 9.575; citation, 0]
2. Honjo J.\* & Kumamoto T.  
Progression of tumor cells by H-Ras oncogenic signaling.  
Proc. Natl. Acad. Sci. USA 108, 9-10 (2019) [IF, 9.432; citation, 10]
3. Kumamoto T.,\* Honjo E., Oe Y., Kuhonji T. & Kurokami T.  
Signal transduction in the cell differentiation.  
Nature 483, 456-789 (2017) [IF, 34.480; citation, 300]

## ○それ以前の主要な業績

1. Kumamoto T.\*  
Stress response in neuronal cells.  
Nat. Rev. Mol. Cell Biol., 1, 23-45 (2010) [IF, 42.198; citation, 60] 英文総説
2. Honjo J., Kumamoto T.\* & Kurokami T.  
Insulin resistance in the liver.  
N. Engl. J. Med., 345, 9-10 (2008) [IF, 47.050; citation, 500]

注：著者名は全員を記し、応募者にはアンダーラインを引き、論文の corresponding author には\*を付すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中の論文については、正式な採択通知書のコピーを同封できる場合に限って記載が認められる。記載順は、直近の年代の論文から過去に遡って記載すること。また、掲載誌の最新の impact factor (IF)、及び当該論文の引用回数 (citation; Scopus による最新データ) を記すこと。

## 競争的研究資金の獲得状況

(注：過去に獲得した競争的研究資金について、研究代表者・分担者分をそれぞれ文部科学省科学研究費補助金、その他の省庁研究補助金、財団等補助金別に配分資金(直接経費)を記載のこと。  
なお、研究分担者分については分担者への実際の配分額を記すこと。また、間接経費の交付がある場合には、その配分額を明記すること。)

### 研究代表者分

#### 文部科学省科学研究費

1. 平成 29～令和 3 年度 基盤研究 (B) 15,000 千円 (間接経費 4,500 千円)  
タンパク質リン酸化と活性化機構
2. 平成 25～27 年度 基盤研究 (A) 30,000 千円 (間接経費 9,000 千円)  
神経変性疾患と遺伝子治療に関する研究

#### その他の省庁研究補助金

1. 平成 29～令和 3 年度 厚生労働省科学研究費  
がん克服戦略研究事業 50,000 千円  
細胞のイメージングと分子標的治療

#### 財団等補助金

1. 平成 26 年度 特定研究助成金 2,000 千円  
細胞ストレスと薬剤耐性化に関する研究

### 研究分担者分

#### 文部科学省科学研究費

1. 平成 29～令和 3 年度 基盤研究 (B) 1,000 千円 (間接経費 300 千円)  
幹細胞の分子機構に関する研究 (研究代表者 黒髪太郎)
2. 平成 28～31 年度 基盤研究 (B) 0 千円  
低酸素応答に関する研究 (研究代表者 大江良子)

#### その他の省庁研究補助金

1. 平成 29～令和 3 年度 厚生労働省科学研究費  
がん克服戦略研究事業 5,000 千円  
多剤耐性がん細胞に関する研究 (研究代表者 黒髪太郎)

#### 財団等補助金

1. 平成 25 年度 日本糖尿病財団研究助成金 500 千円  
細胞ストレスに関する研究 (研究代表者 黒髪太郎)



競争的研究資金の獲得状況のまとめ

注：記入例に従い、総獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額、最近5年間の直接経費獲得額、最近5年間の研究代表者としての直接経費獲得額、最近5年間の研究分担者としての直接経費獲得額を記載すること。間接経費の交付がある場合には、()内にその配分額を記載すること。

記入例

直接経費の総額 (間接経費)	研究代表者としての直接経費獲得額 (間接経費)	研究分担者としての直接経費獲得額 (間接経費)
103,500 千円 (13,800 千円)	97,000 千円 (13,500 千円)	65,000 千円 (300 千円)
最近5年間の直接経費の合計 (間接経費)	最近5年間の研究代表者としての直接経費獲得額 (間接経費)	最近5年間の研究分担者としての直接経費獲得額 (間接経費)
29,000 千円 (13,800 千円)	65,000 千円 (4,500 千円)	6,000 千円 (300 千円)

# 業績の概要

熊本 太郎

現在までの業績をA4に1枚、1200字以内で記載すること。

# 研究・教育に対する抱負

熊本 太郎

当該講座応募に関して、現在お持ちの抱負をA4に1枚、1200字以内で記載すること。